

令和7年度船員労働安全衛生月間の実施

例年9月1日から30日までの1か月間は、船員災害の減少と船内における安全で快適な作業環境、居住環境の実現を目指して、『船員労働安全衛生月間』として実施しています。今年度は「耳で確認 目で確認 指差し呼称更なる安全」をスローガンに、各取組を実施しました。

第52回 沖縄船員災害防止大会



令和7年9月1日に那覇第二地方合同庁舎において第52回沖縄船員災害防止大会を開催し、船員労働安全衛生月間の取組がスタートしました。本大会には約30名の船員、海事関係者が参加し、船員災害・疾病の減少目標の達成を目指すことを誓った大会宣言がなされ、その後、神奈川大学の久宗周二教授による「船員向けハラスメント対策」の特別講演が行われました。本講演では参加者が上司と部下の立場から実際に声を出してハラスメントとなる言動を体感し、船内での良好な人間関係や信頼関係を構築するための有意義な講演となりました。



沖縄船員災害防止大会（特別講演）の様子



沖縄船員災害防止大会（式典）の様子



訪船指導による点検指導



月間中は、訪船指導員が県内の各港に停泊中の船舶を訪れ、安全面では転落・墜落などの事故防止措置、係船索を含む係船設備の点検・保守の周知と、衛生面では医薬品の備え付け状況の確認、飲料水の管理状況などの点検指導を行いました。船員の災害発生率は、陸上労働者に比べて高くなっております。船員が船員災害により休職・離職することは海運業及び漁業にとつて人的資源の損失であるだけでなく、若年者に船員という職業を敬遠させる要因にもなることから、これらの取組を通して船員の安全衛生に対する意識の高揚及び船員災害防止対策を一層推進していきます。

お問合せ先

運輸部 船舶船員課
098-866-1838

お知らせ ① Information

人事異動



おおさか けんじ 逢坂 謙志

次長（開発建設担当）

出身地 大阪府

略歴 平成4年 建設省入省

（独）日本高速道路保有・債務返済機構理事を経て現職

趣味 音楽、美術鑑賞

抱負 初めての沖縄勤務の機会に恵まれました。沖縄の歴史・文化などを踏まえて、更なる発展のために微力ながら尽力して参ります。